

「長野県水道ビジョン改定（案）」へのご意見と県の考え方

- 1 意見募集期間 令和5年2月9日～令和5年3月10日
- 2 意見募集内容 長野県水道ビジョン改定（案）に対する意見
- 3 意見提出状況 4件（2団体、1個人）

水大気環境課

番号	お寄せいただいた意見等	県の考え方（対応等）
1	<p>「水道基盤強化計画策定に向けた水道施設の最適配置計画の検討（上田・長野圏域広域化）」について、自然な浄水方法である緩速ろ過（生物浄化）の浄水場を基本とし、上田市民全員が染屋浄水場のおいしい水を飲めるよう、塩田・小泉地区への送水を早期に実現してほしい。</p>	<p>上田・長野圏域の「水道基盤強化計画策定に向けた水道施設の最適配置計画の検討業務」につきましては、いただいたご意見について県企業局と共有するとともに、今後の上田・長野圏域の広域連携検討の参考にさせていただきます。</p>
2	<p>諏訪形浄水場の停止を切望いたします。</p> <p>急速ろ過法という機械と薬で浄水した水を千曲川左岸へ供給していますが、多量な薬剤の使用は、安全・安心で健康な生活の維持に大きな障害になります。</p> <p>安全・安心・安価な緩速ろ過（生物浄化）で浄水している染屋浄水場の水が供給されるよう、高齢少子化の時代に即応した基本的見直し、水量等の検証を心より推奨いたします。</p>	<p>急速ろ過は比較的大規模な浄水場において広く普及している処理方法で、水質についても国が定めた基準を満足する安全・安心な水であり、健康な生活の維持に障害になるものではありません。</p> <p>諏訪形浄水場は県内でも有数の処理能力をもつ浄水場の一つであり、効率的な水運用のためにも有効に活用することが望ましいものと考えます。</p>

番号	お寄せいただいた意見等	県の考え方（対応等）
3	<p>給水が困難な中山間地域の小規模水道対策として、地下水利用の小規模浄水システムの導入が有効と考えます。深井戸による自給体制の確保によって給水区域のスリム化が図れるとともに、計画水量に応じて m³/h 単位での設計が可能のため、小規模施設や将来的なダウンサイジングにも適します。加えて、原水に応じた膜ろ過処理によりクリプトスポリジウム等汚染対策にも有効です。</p> <p>また、施設の運転管理や維持・修繕・薬品補充等も官民連携として行えることから、人員面での効率化にも繋がります。</p> <p>こうした「分散型給水設備」の活用が、集落が点在する故に配水の効率化が図りにくく、小規模水道事業統合等の課題となっている県内山間地域にあてはまるのではないのでしょうか。</p> <p>従来の導管給水と分散型給水を併用した新たな給水方式が、給水地域の特性に応じた水道サービスの維持に向けた取組みにお役立ちできるものと考え、意見を提出させていただきます。</p>	<p>小規模水道施設への対応策として「分散型給水設備」の活用は、有効な取組の一つと考えられます。こうした検討に当たっては、他地域における取組事例の把握や共有が有効と考えられるため、県は、全国の先進事例等の提供に努めます。</p> <p>なお、第7章「5 先進的な取組事例」におきまして、維持管理の簡便な浄水施設等の導入に係る他自治体の取組を、例示として掲載します。</p>
4	<p>リース利用のイメージが湧きにくいため、リース利用の対象施設や構想案、概念図等を具体的に提示いただけると幸いです。</p>	<p>リース契約による設備導入につきましては、地域の実情に応じて様々な形態が考えられます。現時点で具体的な構想案等の提示は困難ですが、ご提案いただける事例がありましたら、検討の参考にさせていただきます。</p>

※御寄せいただいた意見等につきましては、当課において一部要約している部分があります。